

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：医療型特定短期入所 あおば	種別：短期入所
代表者氏名：中村 光宏	定員（利用人数）：10名 （利用人数35名）
所在地：〒242-0022 大和市柳橋5-2-3	
TEL：046-206-5858	ホームページ： http://www.tomoni.or.jp/aoba/index.html
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2014年9月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会	
職員数	常勤職員 6名 非常勤職員 2名
専門職員	看護師 3名
施設・設備の概要	居室 1 エレベーター
	脱衣室 1 駐車場消火器
	浴室 1 誘導灯
	前室 1 火災報知器
	事務室 1 AED
	救助袋（斜降式）

③理念・基本方針

1. ご本人が地域の中で生き生きと暮らせるようご家族支援も含めたサービスを提供いたします。
2. ご利用者一人ひとりの個性を尊重し、安心して楽しく過ごせる環境作りに努めます。
3. 医療ケアのみならずご本人の日々の生活の中での健康を考え、適切な医療を提供いたします。

④施設・事業所の特徴的な取組

当事業所は医療的ケアのお持ちの障がい児・者の方がご利用できる事業所です。重症心身障害をお持ちの方がご利用できる施設は地域にも少ないため、ご利用いただくことで入浴サービスなどご家族の負担感を軽減することで身体的な面や精神的な面にゆとりができるようなレスパイト目的と、医師と看護師を中心にご本人のニーズに合わせた医療処置を行っています。

ご家庭のニーズとご利用の方のQOLの向上のため一人でも多く入浴サービスを受けられるよう毎月利用調整を行っており、そのため一人一人の事業所での滞在時間は半日と若干短いところがありますが、空いた時間には近隣の公園への散歩や電車好きの方には帰る前に線路沿いへ行き、電車を見てからご帰宅されるなど一人一人の興味関心に寄り添えるような支援を心がけております。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月16日（契約日） ～ 令和4年11月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2019年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)利用者や家族の意思を尊重した支援を行っています

送迎・医療支援・放課後支援などのサービスを全て個別に行い、利用者が職員に話したいことを話せる機会が十分にあります。職員は意思疎通ができるできないに関わらず、できる限り本人の気持ちに寄り添えるよう心がけています。物を投げてしまった利用者がいた場合は、物を投げたという行為に注目するのではなく、その行為に至った背景を考え、気持ちを汲み取り、利用者を受容する支援を行っています。そのうえで、行為や事故を未然に防げるよう努めています。

2)利用者の意向を把握した個別支援計画を基にして支援しています

利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っています。利用者個々に面談して要望を聞き取り、プロフィールを作成しています。日常生活について、好きな姿勢や嫌いな姿勢から、普段の生活の中で好きなことや好きなテレビ、キャラクター、嫌いな時や悲しい時はどのように表現するかなどを把握し、利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションを提供しています。散歩に出かけたり、電車を見に行ったり、図書館で本を借りてきて読み聞かせを行っています。毎月のカンファレンスで、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っています。

3)施設の特性を生かした丁寧なサービスを実施しています

施設の特徴は、医療的ケア児・重度心身障害児・重度知的障害児の受け入れを中心とした、医療型特定短期入所施設です。さらに、入浴サービスを実施し家族の精神的、肉体的負担軽減にも力を注いでいます。医療ケアの必要な子どもが増えている反面、地域に施設が少ない状況で、利用者からの口コミで利用者が増えています。また、支援機関からも利用についての問い合わせがあります。看護師の専門的な知識を踏まえた支援員の丁寧なサービスが実施されています。

4)法人と施設との連携の改善が望めます

法人の中でも、医療と支援サービスを組み合わせた施設であるため、法人、クリニックとのより綿密な連携が必要になってきます。現在、管理者は他の施設と兼任であるため、決定権を持たないスタッフが様々な箇所に相談した後、案件を実施することで行動が遅れる傾向があります。職務の権限などを明確にしたものを明文化し、法人として周知することが望めます。また、職員の技術、資格などを施設で生かせる工夫をし、職員のモチベーションアップにつながることを期待します。

5)職員に計画等を周知し理解してもらうことが期待されます

施設の状況等は毎月の会議で話し合い職員と情報を共有しています。事業所の中期的な展望や単年度の事業計画は職員や利用者等に周知されていません。事業所の計画や課題、施策を共有し理解することで、事業所の改善につながることを期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

「医療」と「福祉」が混合する事業所の中でスタッフ一人一人が振り返ることができ、それを意見交換という形で共有する時間を持てたことが一番有意義だったと感じました。実施していく中で足りないこと、なぜできていないのか、できないのかを個人個人で感じることは大事であり、内部で行おうとしても忙しさのあまりうまく実施できないと思います。

この結果を改めて共有し改善できるところ、改善できないにしてもなぜ改善できないかまで掘り下げて事業所運営に力を注いでいきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり